

評価基準

審査項目	区分	詳細・着眼点	配 点
事業者概要	業務実績	過去３年間のデマンド交通システムの提供に関する実績は十分か。	50
	実施体制	事業実施に必要な体制を整え、業務遂行能力の高いものであるか。	
機能要件		機能要件一覧表にて評価する。	300
システム概要	システム概要	オペレーター、運転手、利用者におけるシステムの操作性や運用方法などについて、効率的な機能を有しているか。	200
		利用者目線に立ったサービスであり、特にスマートフォンでの見やすさ分かりやすさに優れ、直感的な操作を行える機能を有しているか。	
	セキュリティ	ウイルス対策、ユーザー認証、ログの保存などの情報セキュリティ対策は十分であるか。	
システム構築	プロジェクト管理	プロジェクト管理体制が整っているか	100
		具体的かつ詳細なスケジュールが示されており、適切な工程となっているか。	
	環境構築	効率的で職員への負担が十分に考慮されているか	
	ユーザ教育	システムの運用上、必要となるマニュアルや研修等について、具体かつ適正な内容となっているか。	
保守・運用	保守・運用支援	運用サポート体制が整っており、平時の障害監視、インシデント発生時の対応について十分であるか。	100
		運行状況のデータ分析等の運行効率化、利用促進等の支援が十分であるか。	
		バージョンアップ等品質の向上に向けた取組意欲が認められる。	
	業務引継ぎ	利用期間の終了時の業務引継ぎ、データ抽出方法等について十分であると認められる。	
その他	有益な提案事項	・ 利用実績や運行実績を分析して、利用者の増加に関する提案や利用者の利便性、車両の運行効率向上の独自の提案であるか。 ・ 今後の事業実施における拡張性等の独自の提案であるか。	50
イニシャルコスト ランニングコスト		提案者が提出する見積書を相対的に評価する。 評価点 ＝ 配点 × （最低金額 ÷ 提案金額）	200
合 計			1,000